

1. レポート回数：第2回（4月27日）レポート

2. 課題名：サーチエンジンの活用

3. 内容

1 使用ツール紹介

ロボット型

・ Google URL <http://www.google.co.jp/>

ディレクトリ型

・ Yahoo! Japan URL <http://www.yahoo.co.jp/>

比較的情報量の多いロボット型と、質の高さに強いディレクトリ型の双方から、それぞれ最も代表的な検索エンジンを使用した。

2 演習課題

[1]1921年アルゼンチンのマル・デル・プラタに生まれ、4歳頃ニューヨークに移住、15歳の時にアルゼンチンに帰って来たタンゴの革命児と言われている人の名前とその代表的な作品名を知りたい。

Google・Yahoo!の双方で「タンゴの革命児」を検索する

・結果

Google 約107件ヒット

Yahoo! 約82件ヒット

合計約190件のうちほとんどにおいて「タンゴの革命児」という語に付随してアストル・ピアソラ（Astor Piazzolla）という人名が記されている。また、課題文中の「1921年生まれ」「アルゼンチン生まれ」「ニューヨークに移住」と合致する記載もあった。

検索語を「タンゴの革命児 -ピアソラ」とし、他の人物を指す可能性を調べる。

・結果

Google・Yahoo!双方ともヒット件数0件

このことから、一般に「タンゴの革命児」と呼ばれる人物はアストル・ピアソラであると言える。

「Astor Piazzolla」を検索する

・結果

Google で「Astor Piazzolla」を検索すると、本人の公式サイトを見つけることができる

Piazzolla.Org URL <http://www.piazzolla.org/>

ここでは経歴などの公式情報が得られるが、英文のためあまり使用しない。

代表的な作品名について調べる

「タンゴの革命児」の検索結果の中に大手インターネット通販サイトである Amazon の商品情報があった。Amazon で扱われているピアソラの CD に収録されている作品を調べることで、ピアソラの作品のうち代表的なものを知ることができる。

・結果

ピアソラの作品の中で特によく聞かれているものには、

「アディオス・ノニーノ」

「リベルタンゴ」

「ブエノスアイレスの春」などブエノスアイレスの四季と呼ばれるシリーズ等があることがわかった。

検索内容の検討

ヒットしたページは大半が音楽、文化等に関する趣味を持った個人のページで、情報提供者の素性が明らかでない場合や、また明らかであっても情報の正確さの保障にならない立場の人物である場合が多い。

その中で、次のページは比較的評価対象となり得そうなものである。

おんがく日めくり 7月5日分

URL <http://www2.yamaha.co.jp/himekuri/view.html?ymd=19990705>

上のページはヤマハ株式会社という企業サイトのコンテンツで、トップページからは「エンターテイメント おんがく日めくり おんがく日めくり」と辿ることができる。

この情報の評価としては

- ・作成機関の名前、連絡先が明示されている
- ・ヤマハ株式会社は音楽業界では大手企業であり、信頼できる。
- ・特定の商品の購入をすすめるものではない

という特徴から、十分信頼に足る情報であると言える。

ピアソラの出身地について、上記ページでは「1921年アルゼンチンのブエノスアイレスで」と記されているが、マル・デル・プラタとはブエノスアイレス市内の地名であるから、課題文との齟齬はない。

【1の回答】

一般的に「タンゴの革命児」と呼ばれる、条件に合う人物はアストル・ピアソラであり、その代表作には「アディオス・ノニーノ」「リベルタンゴ」「ブエノスアイレスの四季」等がある。

【2】「ばかやろう」と言ったため国会を解散することになった総理大臣は誰で、いつ頃のことか。また、なんでそのようなことを言ったのか。

Google・Yahoo!の双方で「ばかやろう 国会 解散」を検索する

・結果

Google 約84件ヒット

Yahoo! 約40件ヒット

双方の検索結果の最上位に上がっているページは以下のものである。

日本政治年表(50年代) URL <http://www.cc.matsuyama-u.ac.jp/~tamura/nennpyou-50.htm>

の中に詳しい記述がある。それによると、1953年(昭和28年)2月28日、吉田首相と西村栄一議員の国際情勢に対する見解についての問答と、その結果として吉田首相が「ばかやろう」と発言するに至った経緯が記載されている。

また、同サイト内リンクの「歴代総理出身地マップ」によると吉田首相の姓名は「吉田 茂」であることがわかる。

検索内容の検討

サイトトップに戻ってサイト内を確認すると、このページの作成者は、松山大学法学部教授の田村譲という人物が作成していることがわかる。

- ・作成者の名前、連絡先が明示されている
- ・サイトが松山大学公式サイト内にある
- ・専門分野に関するデータベースとして利用されることを踏まえて作成されている等から、情報源として信頼できるものであると言える。

【2の回答】

1953年(昭和28年)2月28日、吉田茂首相は西村栄一議員と国際情勢に対する見解について問答をする中で、「ばかやろう」という発言をし、翌月に解散している。

以上